

# PoEM

メール電源制御パック「PoEM」



■ ■ ■ 取扱説明書

**DENSEI**  
SYSTEMS

株式会社電制システムズ

## はじめに

この度は、電源制御パック「PoEM」（Power control Over E-Mail）をお求めいただき、誠にありがとうございました。

「PoEM」は、明京電機株式会社製品「WATCH BOOT」シリーズ（以下、製品と略します）のE-mail制御を、簡単かつ十分に利用できるようにするため、製品に2つのE-mailをセットにしたパッケージ商品です。

この取扱説明書には、「PoEM」として、製品に加えられている設定や、ご利用方法についての説明が記されています。組み合わされている製品により、アウトレットの数や形状、利用できるオプションに違いがありますが、「PoEM」共通の説明書となっています。

実際のご利用においては、製品に添付されている 明京電機株式会社の取扱説明書と合わせ、ご精読なさるようお願い申し上げます。

「PoEM」が十分に活用されることにより、貴社システムに「安心」と「快適」がもたらされることを願っています。

最新情報はHPよりご確認ください <http://www.densei-sys.co.jp>

製品以外の添付物：POEM 設定表 1 枚

## PoEM (Power control Over E-Mail) の主な特徴

- メールによる電源制御用に、「外部メール」が一つセットされています。
- メールによる電源制御用に、「本体メール」が一つセットされています。
- メールコマンド利用のための必要な通信設定が製品に行なわれています。
- ルーターの監視用に、POP サーバー監視が設定されています。

だから・・・

- ルーターに接続するだけで、すぐに使えます。
- E-mail による電源制御が、すぐに使えます！
- POP サーバー監視によるルーターの監視と自動リブートが、すぐに使えます！



# 目次

---

第一章 PoEM の設定内容	..... P.4
その 1 : E-mail 制御設定	
その 2 : POP サーバー監視設定	
第二章 PoEM の使い方	..... P.7
まず使ってみよう！	
その 1 : POP サーバー監視	
その 2 : E-mail による電源制御	
第三章 ちょっと詳しく少し使ってみよう！	..... P.14
その 1 : E-mail 設定のカスタマイズ	
その 2 : POP 監視設定のカスタマイズ	
その 3 : その他の設定	
第四章 PoEM 使用上の注意点	..... P.21
その 1 : E-mail 設定	
その 2 : POP 監視	
その 3 : その他の注意	
第五章 PoEM 使用上のトラブル対応	..... P.23
その 1 : E-mail 通信のトラブル	
その 2 : POP 監視のトラブル	
その 3 : その他のトラブル対応	
付録	..... P.25
E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表	
「PoEM 設定表」	

# 第一章 PoEM の設定内容

この章では、PoEM で設定されている、設定内容をご説明します。

設定内容を理解していただくための章です。

概要をつかんだ上で、第二章の「PoEM の使い方」に進んでください。

## その1：E-mail 制御設定

**E-mail 送信で電源を制御できます！**

製品には、製品自身のメールアドレスである「本体メール」と、製品へのメールコマンドを許可する送信用メールアドレス「外部メール」アドレスが設定されています。

メールによるコマンド制御は、登録したメールアドレスからのメールのみを許可する設定と、制限を加えずに、どのメールからのメールコマンドでも受け付ける設定とがありますが、「PoEM」では、登録したメールアドレスからのメールコマンドのみを受け付けるように設定しています。

PoEM にセットされている2つのメールアドレスのうち、「本体メール」アドレスを、製品自身のメールアドレスとして、「外部メール」アドレスを、コマンドを送信するメールアドレスとして登録しています。

メール制御方式は、「パスワード方式」が設定されおりメール制御用のパスワードもあらかじめ設定されています。

ご自分で、メールコマンドを許可するアドレスを追加することや、コマンド制御用のパスワードを変更も可能です。第三章の「ちょっと詳しく使ってみよう！」をご参照ください。

**注意！ E-mail アドレスは、インターネット上のアドレスです。  
インターネットに接続できない環境では、ご利用になれません**

## その2：POP サーバー監視設定

### POP サーバー監視のイベントがE-mailで通知されます！

メールを受信するため周期的に接続するPOPサーバーとの通信により、ルーターの正常性を監視する「POP 監視機能」が設定されています。

POPサーバーとの通信に連続3回失敗した場合には、アウトレット1の電源が自動的にOFFして、10秒後にONするように設定されています。POPサーバーとの通信は3分間隔に設定されていますので、通信が異常になってから、およそ6分から9分後に自動的に電源がOFF,ONされることとなります。

それで、アウトレット1にルーターのコンセントを接続すれば、万一、ルーターがフリーズして、外部との通信が行なえなくなった場合には、ルーターを自動的に電源再起動することにより、通信を回復させることができます。

問題が解決して、POPサーバーとの通信が回復した場合、製品は、通信が回復したことをメールで通知します。この通知メールは、あらかじめ設定されている、コマンドを送信するメールアドレス「外部メール」に送信されます。

なお、ご自分で、通知先を追加することもできます。第三章の「ちょっと詳しく使ってみよう！」をご参照ください。

#### [通知メールの例]

POPサーバー監視でレポートした後、正常に回復したことを知らせるメール

件名： REPORT: Noname      Noname は機器名称の設定によります。

本文： 2013/11/07 11:49:01      イベント発生日時です。

Nowhere                      Nowhere は設置場所の設定によります。

\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*              製品のIPアドレスです。

00:09:EE:\*\*:\*\* \*\*              製品のMACアドレスです。

1 死活判定(RECOVERED) (Outlet1)

アウトレット番号/イベント/復旧/アウトレット名称

注意！ POP サーバーは、インターネット上のアドレスです。  
インターネットに接続できない環境では、ご利用になれません

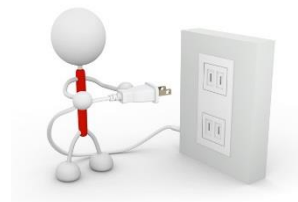
注意！ NTP サーバーについて  
標準的な外部のNTP サーバーをあらかじめ設定していますが、NTP サーバーの運用を保証するものではありません。

お疲れ様でした！

イメージをつかむことができたでしょうか？

次の章では、製品の使い方をご説明します。

実際に製品を使いながら、試してみてください。



## 第二章 PoEM の使い方

---

まず使ってみよう！

### その1：POPサーバー監視

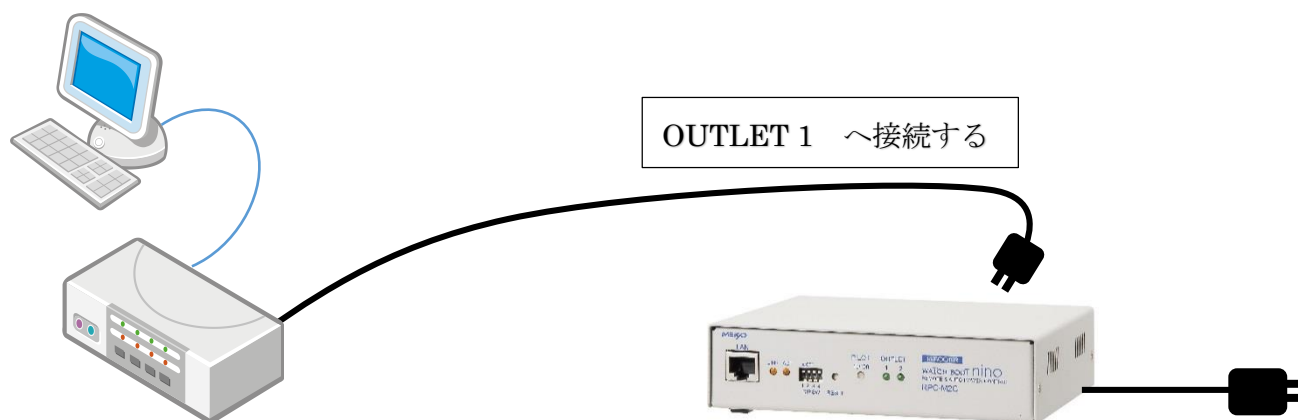
#### 1) 製品の電源を入れます！

製品のアウトレットには、まだ何も接続しないでください。  
その状態で、製品のコンセントを電源に差し込んでください。  
RPC-M5C、RPC-M4L の場合、必要に応じて 2P/3P 変換プラグをご利用ください。  
フロントの PILOT-LED、OUTLET-LED が点灯（あるいは点滅）します。



#### 2) 次に、ルーターの電源コンセントを、製品背面のアウトレット1に接続します。

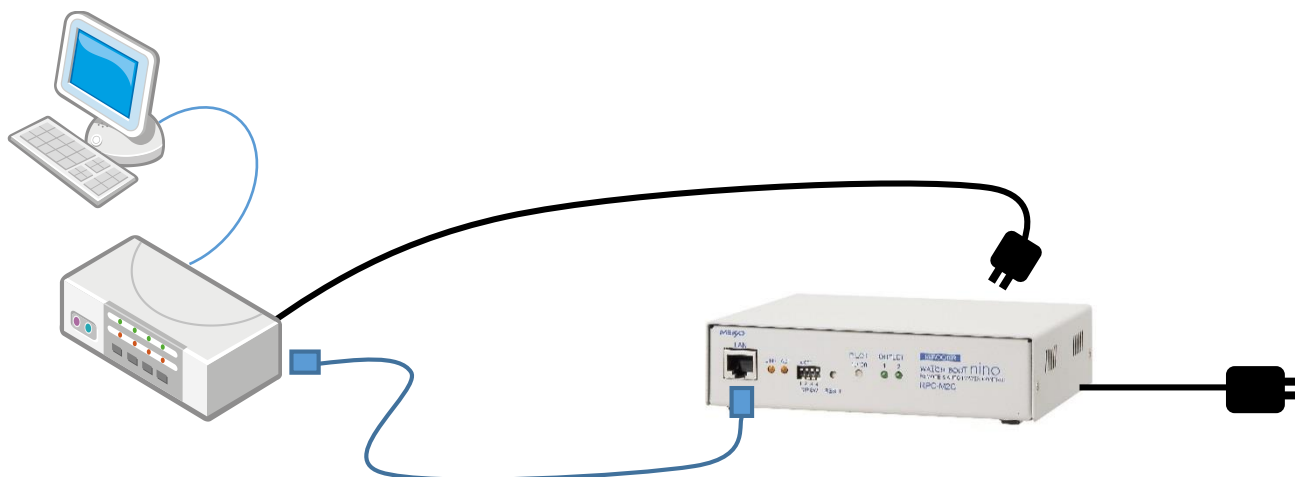
ルーターの電源が入ります。数分間、ルーターの起動を待ちます。  
ルーターに接続されているパソコンなどから、従来とおり、インターネットに接続できる  
ことをご確認ください。





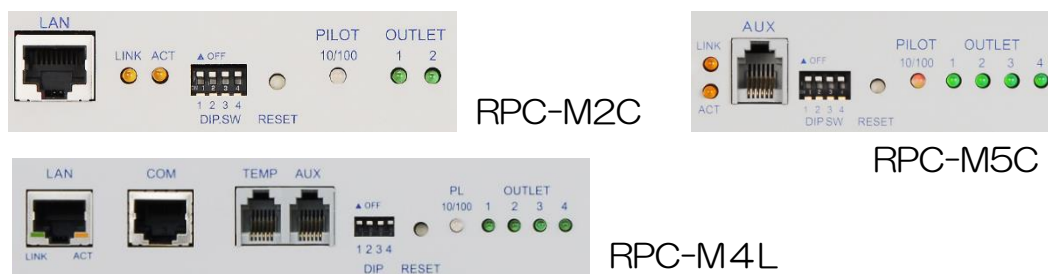
### 3) LAN ケーブルを接続します。

製品のフロントにある「LAN」のインターフェース(RJ-45)と、インターネットに接続されているHUB やルーターのLAN インターフェース (RJ-45) を、市販のLAN ケーブル (ストレート) で接続してください。



### 4) LED の状態を確認して準備完了です！

LAN ケーブル接続後、5分程度待つて、製品のLED の状態を確認します。



LED の名称	正常な状態	備 考
LINK	1 秒点滅	0.5 秒点滅の場合はケーブルを確認してください。
ACT	点灯、消灯	数分経過しても、LINK と ACT が交互に点灯し続ける場合は、ルーターを再起動してみてください。
PILOT 10/100	緑色点灯	橙色点灯は 10BASE-T 固定。問題ありません。
OUTLET 1	点滅→点灯	数分経過しても点滅が続く場合は、インターネット接続に問題があります。回線を確認してください。
OUTLET 2 以降	点灯	電源 ON 時に点灯。電源 OFF 時に消灯。

## 5) メールを受信できるように設定します。

メールを受信するために、「PoEM 設定表」を参照しながら、「外部メール」に関する設定を、お使いのメールソフトに設定してください。

他にもメールアドレスをお持ちであれば、「外部メール」にテストメールを送信して、メールが正常に受信できることを確かめておかれると良いでしょう。

## 6) いよいよ、ルーターの自動リブートをテストします。

製品から LAN ケーブルを抜いてください。10 分ほど経過すると POP サーバー監視により、製品はフリーズが発生したと判断してルーターの電源を OFF/ON します。

無事に電源リブートが実行されたでしょうか？  
次に、LAN ケーブルを差し込んでください。

再び、POP サーバーと通信できるようになると、登録していた通知先メールアドレスに回復を通知するメールが数分以内に送られてきます。

通知メール例：

件名：REPORT:Noname	←機器名称
本文：2013/11/07 08:45:00	←イベント発生日時
Nowhere	←設置場所
192.168.0.95	←機器 IP アドレス
00:09:EE:00:09:09	←機器 MAC アドレス
1 死活判定(Recovered) (Outlet1)	←イベント内容

**注意！** 正常にテストできない場合は、第五章の「PoEM 使用上のトラブル対応」をご参照ください。また、問題となった場面について詳しく記して、ホームページのお問い合わせフォームよりご質問いただければサポートさせていただきます。

メールは無事に届きましたか？

メールが無事に届けば、自動リブートのテストは終了です！

これで、ルーターがフリーズした場合には、

ルーターの電源再起動が、自動的に行なわれるようになりました！

フリーズのたびに、現地に駆けつける必要は無くなります！



## その2 : E-mail 制御

1) 「本体メール」に制御用のコマンドメールを送信する準備をします。

メール送信ソフトから「本体メール」にコマンドメールを送信します。

送信先：「本体メール」 「PoEM 設定表」参照

送信元：「外部」メール 「PoEM 設定表」参照

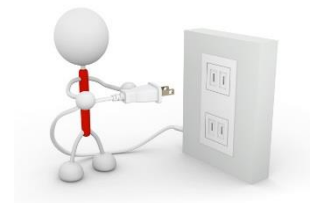
2) メールの内容を記します。

「本体メール」アドレスに、次の形式で、コマンド（命令）を送信します。

件名： 特に記載する必要はありません。空白でも構いませんし、  
「POR2テストメール」など、覚え書きとして記しても構いません。

本文： 1行目に制御用パスワードを英数半角で入力します。  
2行目には、コマンドを入力します。  
続けて、次の行にコマンドを記すことができます。  
最後にコマンドを記した行で改行を行います。

制御用パスワードは、「PoEM 設定表」に記されています。



### 3) 制御用のメールを送信します。

実際にメールを送信して制御してみましょう。

テストではアウトレット2のOFFとアウトレット3のリブートを実施します。

送信後、5分程度でコマンドが実行され、結果を通知するメールが届きます。

「送信先」「送信元」「パスワード」は「PoEM 設定表」をご確認ください。

#### 【送信メール】

件名： POR テストメール ←覚え書きとして記載

本文： ●●●●●● (改行) ←パスワードを記載  
POF2 (改行) ←コマンドを記載  
POR3 (改行) ←コマンドを記載  
←何も記されていない行

#### 【受信メール】

件名： 13/11/07 10:16:06 Command Response ←実行日時

本文： > POF2  
220 Command OK. ←POF2 コマンドの正常実行  
> POR3  
220 Command OK. ←POR3 コマンドの正常実行

電源は、無事に制御されて OFF/ON されましたか？

アウトレット2が OFF し、アウトレット3は OFF して、10 秒後に ON されます。

通知のメールが無事に届けば E-mail 制御のテストも終了です！

これで、どこにいても E-mail を送信するだけで電源の制御が可能になります。

送信する様々なコマンドやレスポンスについては、

付録の E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表をご覧ください！



注意！ メール制御ができない場合は、メール送信が HTML 形式になっていないことを、ご確認ください。テキストメールで送信する必要があります。その他、第五章の「PoEM 使用上のトラブル対応」をご参照ください。

## 第三章 ちょっと詳しく少し使ってみよう！

---

製品の設定方法を覚えると、さらに便利に利用することができます。

例えば・・・

- E-mail 通知に表示される「設置場所」や「機器名称」を登録しておきたい！
- 通知先の E-mail アドレスを追加したり、変更したりしたい。
- E-mail 制御のパスワードを変更したい。
- etc.

設定の変更方法は、製品に添付されている明京電機株式会社の取扱説明書を参照することができますが、以下 メーカー取扱説明書には記されていない簡単な変更方法をご紹介します。

製品にブラウザで接続する方法！

1. 製品と同じ LAN に接続されているパソコンのブラウザを開きます。
2. アドレスに POP サーバー監視の通知メールに記されていた機器 IP アドレスを入力して接続します。（本取扱説明書9ページ参照）

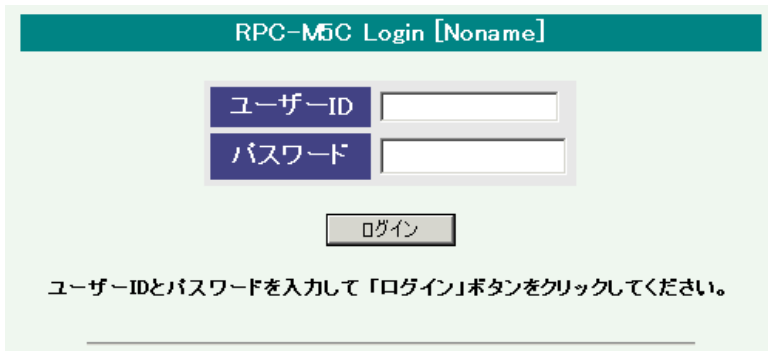
ログイン画面が開けましたか？ ID とパスワードを入力してログインしてください。

ID : admin (デフォルト) パスワード : magic (デフォルト)

おまけ！ POP 監視のメール通知が確認できていない場合は、こんな方法でも・・・

機器 IP アドレスを知る方法として、パソコンの[スタート]から[プログラムとファイルの検索]を選び、そこに[CMD]と入力して実行します。黒い画面のコマンド入力画面が出てきます。そこで[arp -a]と入力して実行します。現在のアーブテーブルが表示されます。物理アドレスの先頭が[00-09-ee]となっているものがありますか？それが製品の物理アドレスですから、そのインターネットアドレスが IP アドレスになります。

## ログイン画面 (RPC-M5C)



RPC-M5C Login [Noname]

ユーザーID

パスワード

ユーザーIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ユーザーID : admin (デフォルト)

パスワード : magic (デフォルト)

## ログイン後の簡易情報画面 (RPC-M5C)



WATCH BOOT

状況表示項目

- 簡易情報表示
- 監視状態表示
- イベントログ表示

制御項目

- 電源制御

設定項目

- 基本設定
- 通信設定
- 監視設定
- スケジュール設定
- システム情報
- PING送信
- 簡易説明
- CPUリセット

admin  
**Admin**  
192.168.0.78

明京電機株式会社

簡易情報表示

### アウトレット情報

No.	アウトレット名称	監視	電源
1	Outlet1		<input type="button" value="ON"/>
2	Outlet2		<input type="button" value="ON"/>
3	Outlet3		<input type="button" value="ON"/>
4	Outlet4		<input type="button" value="ON"/>

### 機器情報

機器名称 Noname

### 接続ユーザー情報

ユーザーID admin **Admin**

IPアドレス 192.168.0.78

※ 他の機種でも画面構成は同じです。



## その1 : E-mail 通知・制御のカスタマイズ

ログインできたら左側のメニューから「通信設定」>「メール設定」を選んでクリックしてください。メール設定の画面が出てきます。

「メールサーバー設定」の画面

メールサーバ設定	
ユーザー名	●●●●●●●●
パスワード	●●●●●●
メールアドレス	●●●●●●●●
POP3サーバ名	●●●●●●●●
SMTPサーバ名	●●●●●●●●
自動ログアウト時間(分)	10
メールチェック間隔(分)	3
メールリトライ間隔(秒)	10
POP3ポート	110
SMTPポート	587
APOP利用	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SMTP-AUTH利用	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メール制御コマンド有効	パスワード方式
メール制御パスワード	●●●●
メール制御許可アドレス	通知先アドレスのみ
送信メール 件名	機器名称
送信メール 本文1行目	日時又は積算時間
送信メール 本文2行目	設置場所
送信メール 本文3行目	機器IPアドレス
送信メール 本文4行目	MACアドレス
送信メール 本文5行目	イベント内容

「ユーザー名」～「SMTP-AUTH 利用」までは、メールサーバー用の設定です。メール制御コマンド有効以下を変更することでカスタマイズすることができます。

**注意！** 他の設定は変更しないでください。正常に監視できなくなる可能性があります。

### 「メール制御コマンド有効」

メール制御コマンドの有効/無効について、また、有効の場合の奉仕を選択することができます。PoEM では、パスワード方式を選択しています。

無効	メール制御コマンドを利用しない場合
ログイン方式	最初のメールでログイン要求を出して、ワンタイムのIDを受け取ってからコマンドを送信します。 パスワード方式が毎回パスワードを送信することに較べてセキュリティの高い方式ですが、コマンドを送信するまでに、余分なやりとりが必要となります。
パスワード方式	パスワードとコマンドを送信する方式です。

### 「メール制御パスワード」

メール制御コマンドでパスワード方式を選択した場合に使用するパスワードを設定します。PoEM では、あらかじめ特有のパスワードが設定されています。

(パスワードは「PoEM 設定表」に記されています)

パスワードは、任意の半角英数文字40文字を使用できます。

また、大文字、小文字の区別がありますので、お気をつけください。

変更後は、お客様でパスワードを管理なさってください。

### 「メール制御許可アドレス」

メール制御コマンドを有効にしている時に、どのメールアドレスからの制御を有効にするか決めることができます。PoEM では、「通知先アドレスのみ」を選択しています。

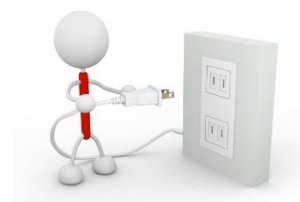
制限無し	制限はありません。
通知先アドレスのみ	通知先として登録しているメールアドレスからの制御のみを受け付けます。

### 「送信メール」(件名～本文5行目)

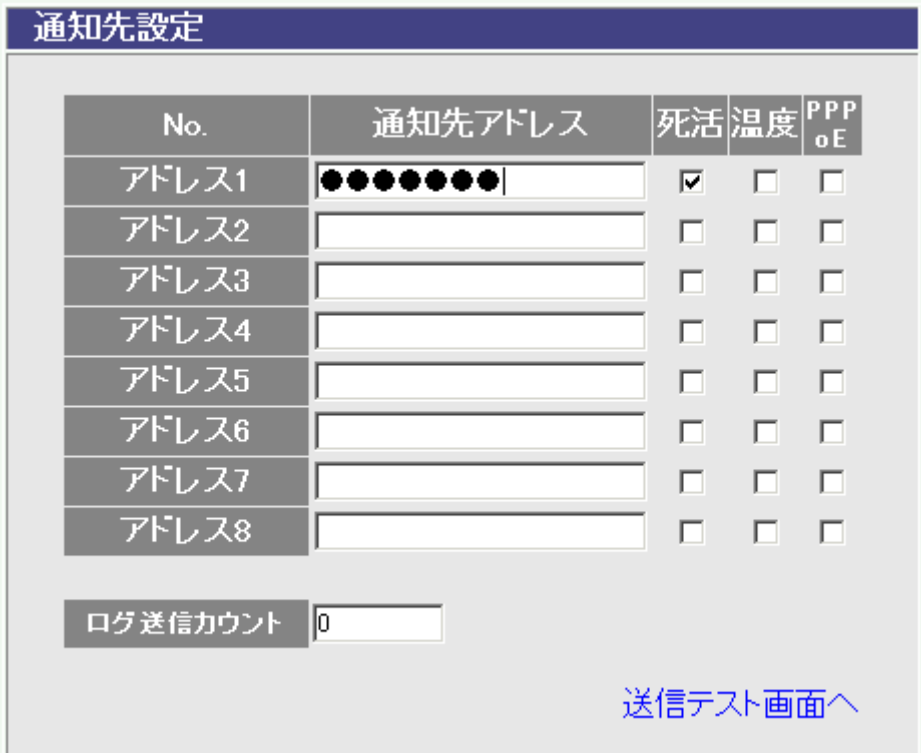
通知メールに含める内容を選択できます。

PoEM は、デフォルトの状態のままを選択しています。

項目	設定値	説明
メール制御コマンド有効	パスワード方式	メール制御の有効/無効。有効の場合の方式を選択します。
メール制御パスワード	●●●●	メール制御に使うパスワードです。
メール制御許可アドレス	通知先アドレスのみ	メール制御の許可を与えるアドレスを制限するかどうかを選択します。
「送信メール」 「件名～本文5行目」		通知メールの内容を選択します。



「通知先設定」の画面



No.	通知先アドレス	死活	温度	PPPoE
アドレス1	●●●●●●●●	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス6		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス7		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス8		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ログ送信カウント

[送信テスト画面へ](#)

通知先アドレスを8個まで設定できます。

PoEM では、「外部メール」がアドレス1 に設定されています。

「死活」：POP サーバー監視の状態が変化した時にメールが送信されます。

「温度」：温度監視の状態が変化した時にメールが送信されます。

温度監視機能は温度センサーオプションを接続する必要があります。

WATCH nino (RPC-M2C) には接続できません。

「PPPoE」のチェックは、通常使用しません。

「メール制御許可アドレス」が「通知先アドレスのみ」になっている場合は、ここに登録されたメールアドレスからのみ、制御が可能となります。

## その2：機器名称の設定

ログインできたら左側のメニューから「基本設定」を選んでクリックしてください。  
基本設定の画面が出てきます。

「基本設定」の画面

No.	アウトレット名称	OFF遅延	再投入	ON遅延
1	Outlet1	0 秒	10 秒	1 秒
2	Outlet2	0 秒	10 秒	2 秒
3	Outlet3	0 秒	10 秒	3 秒
4	Outlet4	0 秒	10 秒	4 秒

- 「機器名称」 全角9文字、半角英数19文字を設定できます。
- 「設置場所」 全角31文字、半角英数字63文字を設定できます。
- 「アウトレット名称」 全角10文字、半角英数字20文字を設定できます。

こうした名称を上手につけることで、機器の管理が行ないやすくなります。  
是非、活用なさってください。

各種遅延時間については、明京電機社の取扱説明書をご確認ください。

## 第四章 PoEM 使用上の注意点

---

### その1 : POP 監視

アウトレット1以外にもPOP監視を設定したい場合は、監視設定画面から、POP監視設定画面に入り、他のアウトレットにも同様の設定することができます。

あるいは、他のアウトレットに接続するものが、パソコンやIPカメラ、またIPアドレスを持つスイッチなど、PINGに応答する機械であれば、PING監視にIPアドレスを設定して、PING監視を利用することも可能です。ただし、これらのサーバーは、フリーズしていてもPINGに応答をかえす場合がありますので、ご注意ください。

死活監視による自動リブートで検出できないフリーズについては、E-mail制御を利用した遠隔リブートが有効な手段となります。

**注意！** PoEMに設定しているPOP3サーバーアドレスを、監視用アドレスとして、他の機器、製品に設定することは許可していません。どうぞ、ご注意ください。

**注意！** PoEMに設定されているメールアドレスは、製品寿命の、約10年間のご利用を想定して運営しています。ただし、予見しえない事故、災害など、どうしても対応できない状況により、サービスをご提供できなくなる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

## その 2 : E-mail 通知 ・ 制御

PoEM に付与されている E-mail アドレス以外のメールを、E-mail 通知や制御に利用することは可能です。明京電機社の取扱説明書を参考にして、メールサーバー設定を、変更してください。ただし、製品は SMTP over SSL 認証には対応していません。それで、認証方式の制限から、多くの場合、無料メールは利用することができません。どうぞ、ご注意ください。

また、製品は、周期的にメールサーバーをチェックし、自分宛のメールがあった場合、受信と共に、サーバーからメールを削除します。

それで、通常利用しているメールを製品に設定すると、受信メールが削除されることとなりますので、ご注意ください。

**注意！** PoEM に付与している二つの E-mail アドレスは、PoEM パックによる利用に制限しています。この E-mail アドレスを、他の機器、製品に設定することを許可していません。どうぞ、ご注意ください。

## その 3 : 初期化

PoEM の設定は、E-mail アドレスや POP サーバー監視先など重要な部分の設定について、初期化しても設定が残るようになっています。ご自分で、設定をカスタマイズした後、設定が分からなくなったような場合でも、初期化することで購入時の状態に戻すことができます。詳細は、「PoEM 設定表」をご覧ください。

## 第五章 PoEM 使用上のトラブル対応

現象	チェックポイント	対処方法
本体起動後、アウトレットが ON しない	ON 遅延時間に「-1」が設定されていませんか？	起動時に ON させる場合は、0 以上を設定してください。
	PILOT-LED が赤色で点滅していますか？	内部故障の可能性がります。メーカーに連絡してください。
POP サーバー監視で 1 時間毎にリポートがかかる。	LAN ケーブルが外れたり、断線したりしていませんか？	LAN ケーブルをはずした時に、LINK-LED の点滅速度が速くなるはず。変化の無い場合は、ケーブルを変更してください。
	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。
	監視先の設定が変更されていませんか？	WEB で接続後、POP サーバーアドレスを確認してみてください。
		設定を変更した場合は、変更先のアドレスを再度確認してください。
POP サーバー監視でリポートがかからない。	既に、リポートが生じていて、1 時間周期のリポートになっていませんか？	WEB で接続後、監視状態を確認してみてください。異常になっている場合、1 時間ごとのリポートが実行されています。
PILOT が赤くなった	これまでのリポート回数が 12 回を越えたことの警告です。	フロントの RESET ボタンを 1 秒ほど押してください。復旧します。
E-mail が届かない	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。
	迷惑メールとして拒否されていませんか？	通知用のメールとして設定しているメールアドレスをホワイトリストなどに登録してください。
	メール設定の通知先アドレスが変更されていませんか？	WEB で接続後、メール設定画面で確認してください。
	メール設定の通知先アドレスの「死活」チェックがはずれていませんか。	WEB で接続後、メール設定画面で確認してください。
E-mail 制御でできない（応答が無い）	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。



	制御用のアドレスは、メール設定の通知先アドレスに登録されていますか？	WEBで接続後、メール設定画面で通知先アドレスに登録されていることを確認してください。
	パスワードは一致していますか？	1行目にパスワードを入力してください。半角英数です。また大文字、小文字の違いにもご注意ください。
		無料メールでは、1行目に宣伝が入ることがあります。他のメールで受信して確認してみてください。
E-mail 制御ができない (応答はある)	コマンドを間違えていませんか？	コマンドのスペルにご注意ください。
	使用できないコマンドではありませんか？	応答一覧を確認なさってください。コマンドが重なると実行できない場合もあります。
	アウトレットで OFF を禁止していませんか？	OFF 遅延時間が「-1」に設定されていると、OFF 制御を受け付けても、実際には OFF しません。
PILOT-LED が消灯している。	ディップスイッチは、すべて OFF (上) の状態ですか？	ディップスイッチの状態を正しい状態にして、再度、電源を投入してください。(全部 OFF (上))
	ディップスイッチが正しい場合は、故障の可能性があります。	メーカーにご相談ください。
WEB のログイン画面がでない	IP アドレスが変更されている可能性があります。	E-mail または ARP、あるいは RPC サーチを利用して、IP アドレスを確認してください。
	ブラウザの設定が PROXY 経由になっていませんか？	PROXY を無効にしてください。
	パソコンと製品のセグメントが異なっていませんか？	同じルーターでインターネットに接続できることを確認してください。
	通信設定で、HTTP のポート番号を変更していませんか？	変更したポート番号に対して、接続してください。
WEB でログインできない (画面は出る)	ID パスワードが間違っていますか？いずれも英数半角です。	ID、パスワードが分からない場合は、初期化するしかありません。

# 付録

## E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表

製品からのレスポンス	意味
220 Command OK.	コマンド成功
501 Unrecognized command.	不正なコマンド（認識できないコマンド）
502 Last command is pending. Command failed.	最後のコマンドを実行中のために、コマンドを実行できず

## E-mail 制御コマンド一覧

コマンド	意味	備考
MPON	全アウトレット ON	ON 遅延時間が有効
MPOF	全アウトレット OFF	OFF 遅延時間有効
MPOR	全アウトレット OFF/ON	全アウトレット再投入有効
PON <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> ON	
POF <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> OFF	OFF 遅延有効
POR <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> OFF/ON	再投入遅延有効
POS	電源状態確認	1 が ON、0 は OFF
XPOS	電源状態確認遅延付き	
VER	バージョン確認	
LOG	ログ情報 (古い順)	一度に20行ずつ表示 改行コードごとに、次の20行を表示。
LOGB	ログ情報 (新しい順)	一度に20行ずつ表示 改行コードごとに、次の20行を表示。

## PoEM 設定表

設定項目	設定値	備考
製品型名		Ver.
POP 監視回数	3	
動作	リポート	
E-mail address		本体メール
ユーザー名		
パスワード		
POP3サーバー		
SMTPサーバー		
POP3ポート		
SMTPポート		
SMTP認証方式		
APOP認証		
メール制御有効化		
制御用パスワード		
通知先 E-mail		
通知イベント		
NTPサーバー		
備考：		

## 外部メール

E-mail address		
パスワード		
POP3サーバー		
SMTPサーバー		
POP3ポート		
SMTPポート		
SMTP認証方式		

お問い合わせ先：

株式会社電制システムズ

電話番号 0467-44-0967 サポート時間：午前 10 時～午後 5 時（平日）

E-mail [info@densei-sys.co.jp](mailto:info@densei-sys.co.jp)

HP：<http://www.densei-sys.co.jp/>

### 【注意点】

1. 本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
2. 本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本製品を運用した結果の影響については、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください

※ 「WATCH BOOT」は、明京電機株式会社の登録商標です。

メール電源制御パック「P o E M」

取扱説明書

第 1.0a 版

株式会社 電制システムズ